

厚生労働科学研究費補助金（認知症政策研究事業）

分担研究報告書

新コホートを対象とした疫学的調査（板橋区高島平地区）

研究分担者 稲垣宏樹 東京都健康長寿医療センター研究所研究員

研究代表者 栗田圭一 東京都健康長寿医療センター研究所研究部長

研究要旨

大都市部における独居認知症高齢者の生活実態と生活課題の把握を目的として、板橋区高島平地区に在住する高齢者の全員 11,198 名を対象に、郵送法と郵送留置き法を併用して、自記式アンケート調査を実施した。回収票は 7,801 票であった（回収率 69.7%）。回収済み対象者のうち独居は 2,677 名（34.3%）であった。本地域における独居高齢者は、①女性が多い、②後期高齢者が多い、③要介護認定率が高いが、障害高齢者・認知症高齢者の日常生活自立度に障害がある者の比率が特に高いというわけではない、④賃貸住宅の比率が高い、⑤配偶者がいない者が多い、⑥低学歴の者が多い、⑦就業していない者が多い、⑧年収 100 万円未満の者がやや多く、経済的に苦しいと感じている者も多い、という特徴があり、住居や経済状況にリスクを抱えている者が多いと考えられた。

A. 研究目的

平成 28 年度に東京都事業「認知症とともに暮らせる社会に向けた地域ケアモデル事業」において、板橋区高島平地区の 70 歳以上高齢者を対象として調査を実施し、男性で 26%、女性で 44%が一人暮らしであること、また認知機能検査（MMSE-J）の結果から 27%が認知機能の低下した高齢者であると推計され、そうした高齢者は、心身の機能や健康状態が不良であり、社会的活動や対人交流が乏しいことを報告した。

本事業では、同じ地区で 65 歳～69 歳を含む新しいコホートを対象にしつつ、特に独居高齢者に焦点を当てて、生活実態と生活課題の把握を目的とする疫学的調査を実施する。

本年度の調査は 2020 年 1 月から 3 月にかけて、郵送法ならびに郵送留置き法を併用した自記式アンケート調査を実施した。本稿では、回収率、世帯状況、要介護認定、背景情報の一部について報告する。

なお、本研究は、東京都健康長寿医療センター研究所長期縦断研究「大都市部高齢者の健康長寿の要因を解明する長期縦断研究」と連携して実施予定であり、独居認知症高齢者のみならず、地域在住高齢者全般を対象に、心身の健康や生活障害のリスクを促進または抑制する要因の解明を目指している。今後、本年度調査をベースラインとして、今後新たに 65 歳に達した者や他地域からの転入者を調査対象に加えながら、隔年で郵送調査と会場調査を実施し、同地域に

おけるコホートの追跡調査を行うことを計画している。

B. 研究方法

1. 調査地区

2019年7月1日時点で東京都板橋区高島平の特定地域(1~5丁目)に在住する65歳以上高齢者の全員を対象とした悉皆調査である。行政提供名簿に記載された11,198名を母集団とする。対象者数や平均年齢を表1に示した。

対象地区は高齢化率が高く(34.1%、区全域23.0%)、特に団地地区(2・3丁目)で顕著である(それぞれ45.1%、41.8%)。一方、要支援要介護認定は14.9%で、区全体の18.6%(平成29年度)より比率は低くなっている。対象地域における要介護認定の状況等を表2にまとめた。

2. 手続き

調査は、次の三段階で実施される予定である。

①一次調査：郵送法および郵送留置法による、生活実態の把握を目的とした自記式アンケート調査。

②二次調査：認知機能低下ならびに生活課題を抱えた高齢者の把握を目的とした、会場健診型面接調査および訪問面接調査。

③三次調査：医学的評価や社会支援ニーズの把握を目的とした、専門医・専門職による訪問面接調査。

本年度(2019年度)は、このうち、①郵送による自記式アンケート調査を実施した。調査票の発送および回収は、調査会社に委託した。

なお、②以降は2020年度以降の実施を計画している。

3. 調査期間

2020年1月15日に郵送で調査票を発送し、2020年1月29日を返送の締め切りとした。

上記の返送期間に調査票未返送であった対象者、または拒否、死亡、転出等により対

表1 対象者数、年齢

		全体	高島平 一丁目	高島平 二丁目	高島平 三丁目	高島平 四丁目	高島平 五丁目	不明
対象者数	人数	11198	1409	6081	2371	468	869	12
	女性	6328	760	3474	1394	241	459	
	女性%	56.5%	53.9%	57.1%	58.8%	51.5%	52.8%	-
年齢	65-69歳	2411	391	1250	466	117	187	
	70-74歳	2869	377	1633	559	108	192	
	75-79歳	2608	313	1490	522	92	191	
	80-84歳	1906	185	1050	436	76	159	
	85-89歳	970	94	453	275	56	92	
	90-94歳	347	37	172	83	14	41	
	95-99歳	81	11	30	29	5	6	
	100歳以上	6	1	3	1		1	
	不明	12						12
後期高齢者(75歳以上)%		52.8%	45.5%	52.6%	56.8%	51.9%	56.4%	
平均年齢		75.8	74.7	75.6	76.6	75.9	76.4	-

象外となった対象者に対して、2020年2月10日から2020年3月13日まで、専門調査員が居宅に訪問し、調査票の回収を行った。対象者が希望する場合は訪問回収期間内でも郵送による返送を認めた（特に調査期間の後半は、新型コロナウイルスの流行に伴

い、郵送による回収を積極的に認めることとした）。

4. 調査項目

郵送調査における調査項目は、以下の通りである。

①背景情報・人口統計学的情報：性別、生年

表2 対象地域における要介護認定の状況

		全体	高島平 一丁目	高島平 二丁目	高島平 三丁目	高島平 四丁目	高島平 五丁目	不明
要介護認定	認定なし	9524	1204	5234	1985	405	696	
	要支援1	366	31	192	96	9	38	
	要支援2	272	27	158	50	8	29	
	要介護1	278	34	118	79	12	35	
	要介護2	277	37	144	62	10	24	
	要介護3	190	20	95	46	11	18	
	要介護4	164	33	79	31	9	12	
	要介護5	127	23	61	22	4	17	
	不明	12						12
	要介護認定あり%	14.9%	14.5%	13.9%	16.3%	13.5%	19.9%	-
障害高齢者の 日常生活自立度	認定なし	9531	1205	5239	1986	405	696	
	自立	8		4	2	1	1	
	J1	100	3	55	35	2	5	
	J2	497	47	287	103	14	46	
	A1	281	38	125	73	12	33	
	A2	321	41	139	84	16	41	
	B1	130	16	66	29	3	16	
	B2	177	30	94	29	11	13	
	C1	52	11	20	13	1	7	
	C2	101	18	52	17	3	11	
	不明	12						12
	障害あり（A1以上）%	9.5%	10.9%	8.2%	10.3%	9.8%	13.9%	-
認知症高齢者の 日常生活自立度	認定なし	9524	1204	5234	1985	405	696	
	自立	427	43	235	84	12	53	
	I	348	42	189	81	7	29	
	II a	205	18	106	56	9	16	
	II b	265	37	122	64	15	27	
	III a	212	30	92	54	11	25	
	III b	70	14	33	11	2	10	
	IV	113	18	53	26	7	9	
	M	27	2	12	9		4	
	記載なし	7	1	5	1			
	不明	12	0	0	0	0	0	12
	障害あり（II a以上）%	8.0%	8.4%	6.9%	9.3%	9.4%	10.5%	-

月、記入者、教育歴。

- ②生活環境：住居状況（住居形態、戸建・集合、持家・賃貸、2階以上、エレベーター有無、居住年数）、世帯状況（同居者の有無、同居者数、65歳以上同居者数、配偶者の有無）、就業状況、経済状況（年収、主観的経済状況）。
- ③生活習慣：飲酒、喫煙、外出頻度、運動習慣（散歩、軽い体操、運動・スポーツ）、趣味活動（趣味・けいこごと）、睡眠状況（就寝・起床の時刻、入眠までの時間、睡眠時間、睡眠導入剤・睡眠薬）。
- ④身体機能：身体的健康状態（主観的健康感、かかりつけ医の有無、疾病状況）、自力歩行、腰・膝の痛み、フレイル（基本チェックリスト、介護予防チェックリスト）。
- ⑤歯科口腔・栄養：口の主観的健康感、咀嚼力、歯科受診、低栄養判定、孤食、SNAQ（食欲判定）、食品摂取多様性頻度、主食・主菜・副菜の摂取頻度、食事・間食の摂取頻度、調理、外食・中食頻度、共食・孤食。
- ⑥精神・心理的機能：精神的健康（WHO-5-J）、抑うつ（GDS5）、認知機能・認知症アセスメント（B-ADL、自記式認知症チェックリスト）。
- ⑦社会的機能：地域・グループ活動、近隣との交流、対人接触頻度、ソーシャルサポート、ソーシャルネットワーク（LSNS-6）、ソーシャルキャピタル。
- ⑧その他：認知症に関する知識・意識、認知症の相談相手・場所、将来認知症になったらどこで生活したいか。
- ⑨行政提供情報：介護保険情報、障害高齢者の日常生活自立度、認知症高齢者の日常生活自立度、介護サービス利用状況。対象地域の住民については、調査データと

の連結が可能な様に、個人が特定できる状態で提供される。対象地域外の住民について、個人が特定できない形で上記情報と町丁目情報が提供される。

5. 倫理的配慮

東京都健康長寿医療センター研究所倫理委員会において承認を得た。

対象者には、調査目的、調査方法、参加は強制ではなく不参加や同意の撤回の機会は保障されること、不参加の場合でも何ら不利益はないこと、等を記載した説明文書を同封した。

行政提供情報に関しては、板橋区において適正な審査を経たうえで承認を受け、提供された。

C. 研究結果

1. 回収済み対象者と未回収対象者の比較
郵送返送により 6,333 票、訪問回収により 1,468 票、計 7,801 票が回収された。回収率は 69.7%であった（表 3 を参照）。対象者の平均年齢は 75.5 歳、75 歳以上の対象者（後期高齢者）で 4,265 名（54.7%）であった。調査票が回収できなかった対象者 3,397 名の平均年齢は 75.6 歳で、郵送回収による参加者と差はなかったが、後期高齢者 1,653 名（48.7%）と比率が低くなっていた。

回収済みの対象者と未回収の対象者の要介護認定、認知症高齢者の日常生活自立度の状況を表 4、表 5 に示した。要介護認定を受けている者の割合は、それぞれ 12.0%（940 名）、21.6%（734 名）と、未回収の対象者で高くなっていた。「認知症高齢者の日常生活自立度」において、II a 以上、すなわち認知症により生活自立が障害されていると考えられる対象者の割合は 5.1%（399 名）、14.5%

(493名)で、いずれも未回収の対象者で割合が高くなっていった。

2. 世帯状況別の年齢、要介護認定の状況、住居、経済状況

表6に丁目別の世帯状況、表7から表11に世帯状況別の対象者の背景情報を示した。本事業の目的に照らし、特に「一人暮らし」に関する結果を記載する。

回収済み対象者7,801名中世帯状況が「一人暮らし」は2,677名、34.3%であった(表6)。丁目別には、二丁目で43.9%(1,816名)と、他の丁目より高い割合を示した。

性別に関して、女性の比率は「一人暮らし」で64.4%(1,725名)で、「夫婦のみ」47.6%(1,349名)、「その他」59.8%(1,083名)よりも高かった(表7)。

表3 回収済み対象者と未回収の対象者の人数および年齢

		全体	高島平 一丁目	高島平 二丁目	高島平 三丁目	高島平 四丁目	高島平 五丁目	不明	
回収	対象者数	人数	7801	964	4141	1786	297	601	12
		参加率%	69.7%	68.4%	68.1%	75.3%	63.5%	69.2%	100%
		女性	4458	517	2399	1067	152	323	-
		女性%	57.1%	53.6%	57.9%	59.7%	51.2%	53.7%	-
年齢		65-69歳	1524	256	747	338	75	108	
		70-74歳	2000	256	1119	422	72	131	
		75-79歳	1947	229	1096	413	60	149	
		80-84歳	1410	134	763	343	49	121	
		85-89歳	672	61	310	203	36	62	
		90-94歳	196	19	93	53	5	26	
		95-99歳	38	8	13	14		3	
		100歳以上	2	1				1	
		不明	12						12
		後期高齢者(75歳以上)%	54.7%	46.9%	54.9%	57.4%	50.5%	60.2%	
		平均年齢	75.5	74.7	75.8	76.5	75.4	76.8	
未回収	対象者数	人数	3397	445	1940	585	171	268	
		不参加率%	30.3%	31.6%	31.9%	24.7%	36.5%	30.8%	
		女性	1870	243	1075	327	89	136	
		女性%	55.0%	54.6%	55.4%	55.9%	52.0%	50.7%	
年齢		65-69歳	887	135	503	128	42	79	
		70-74歳	869	121	514	137	36	61	
		75-79歳	661	84	394	109	32	42	
		80-84歳	496	51	287	93	27	38	
		85-89歳	298	33	143	72	20	30	
		90-94歳	151	18	79	30	9	15	
		95-99歳	43	3	17	15	5	3	
		100歳以上	4		3	1			
		後期高齢者(75歳以上)%	48.7%	42.5%	47.6%	54.7%	54.4%	47.8%	
		平均年齢	75.6	74.4	75.4	76.7	76.4	75.7	

表 4 回収済み対象者と未回収の対象者の要介護認定の状況

			全体	高島平 一丁目	高島平 二丁目	高島平 三丁目	高島平 四丁目	高島平 五丁目	不明
回収	要介護認定	認定なし	6849	853	3689	1541	268	498	
		要支援1	268	23	134	79	6	26	
		要支援2	195	18	112	39	6	20	
		要介護1	163	22	65	50	5	21	
		要介護2	130	21	58	33	3	15	
		要介護3	86	8	42	21	4	11	
		要介護4	58	14	24	13	4	3	
		要介護5	40	5	17	10	1	7	
		不明	12						12
		要介護認定あり%		12.0%	11.5%	10.9%	13.7%	9.8%	17.1%
未回収	要介護認定	認定なし	2675	351	1545	444	137	198	
		要支援1	98	8	58	17	3	12	
		要支援2	77	9	46	11	2	9	
		要介護1	115	12	53	29	7	14	
		要介護2	147	16	86	29	7	9	
		要介護3	104	12	53	25	7	7	
		要介護4	106	19	55	18	5	9	
		要介護5	87	18	44	12	3	10	
			要介護認定あり%		21.6%	21.1%	20.4%	24.1%	19.9%

表 5 回収済み対象者と未回収の対象者の認知症高齢者の日常生活自立度

			全体	高島平 一丁目	高島平 二丁目	高島平 三丁目	高島平 四丁目	高島平 五丁目	不明	
回収	認知症高齢者の 日常生活自立度	認定なし	6849	853	3689	1541	268	498		
		自立	307	33	168	62	9	35		
		I	228	24	118	61	4	21		
		II a	110	8	53	33	4	12		
		II b	132	22	50	42	3	15		
		III a	81	10	29	28	4	10		
		III b	26	8	9	3	1	5		
		IV	41	5	16	12	4	4		
		M	9		4	4		1		
		記載なし	6	1	5					
		不明	12						12	
			障害あり（II a以上）%		5.1%	5.5%	3.9%	6.8%	5.4%	7.8%
		未回収	認知症高齢者の 日常生活自立度	認定なし	2675	351	1545	444	137	198
	自立			120	10	67	22	3	18	
I	120			18	71	20	3	8		
II a	95			10	53	23	5	4		
II b	133			15	72	22	12	12		
III a	131			20	63	26	7	15		
III b	44			6	24	8	1	5		
IV	72			13	37	14	3	5		
M	18			2	8	5		3		
記載なし	1					1				
	障害あり（II a以上）%				14.5%	14.8%	13.2%	16.8%	16.4%	16.4%

表6 丁目別の世帯状況

		全体	高島平 一丁目	高島平 二丁目	高島平 三丁目	高島平 四丁目	高島平 五丁目	不明
同居者の有無	1. 一人暮らし	2677	257	1816	428	51	121	4
	2. 夫婦のみ	2834	321	1402	779	105	223	4
	3. その他	1811	306	705	454	125	218	3
	欠損値・事故値	479	80	218	125	16	39	1
	一人暮らし%	34.3%	26.7%	43.9%	24.0%	17.2%	20.1%	33.3%

年齢に関して、後期高齢者（75歳以上）の比率は「一人暮らし」で59.1%（1,581名）で、「夫婦のみ」50.3%（1,425名）、「その他」50.5%（914名）よりも高かった（表7）。

要支援1以上を「要介護認定を受けている」とした場合の比率は、「一人暮らし」で14.4%（385名）で、「夫婦のみ」7.7%（218名）、「その他」9.5%（172名）よりも高かった（表8）。

障害高齢者の日常生活自立度に関して、A1以上を障害ありとした場合の比率は、「一人暮らし」で4.7%（127名）で、「夫婦

のみ」4.4%（126名）と差はなかったが、「その他」6.7%（121名）よりは低かった（表8）。

認知症高齢者の日常生活自立度に関して、IIa以上を障害ありとした場合の比率は、「一人暮らし」で4.4%（117名）で、「夫婦のみ」2.8%（79名）よりも高かったが、「その他」4.5%（81名）とは差がなかった（表8）。

住まいの状況を、表9に示した。住まいが自分の持ち家ではなく、賃貸（公営賃貸住宅、民間賃貸住宅（一戸建て・集合住宅）、借家・貸間）である者の比率は、「一人暮らし

表7 世帯状況別の基本属性（1）：性別、年齢

		一人暮らし	夫婦のみ	その他	欠損値 ・事故値	合計
性別	女	1725	1349	1083	301	4458
	男	948	1481	725	177	3331
	不明	4	4	3	1	12
	総計	2677	2834	1811	479	7801
	女性%	64.4%	47.6%	59.8%	62.8%	57.1%
		34.3%	36.3%	23.2%	6.1%	100.0%
年齢群	65-69歳	458	595	423	48	1524
	70-74歳	634	810	471	85	2000
	75-79歳	643	780	421	103	1947
	80-84歳	529	457	305	119	1410
	85-89歳	310	163	126	73	672
	90-94歳	90	23	47	36	196
	95-99歳	8	2	15	13	38
	100歳以上	1			1	2
	不明	4	4	3	1	12
	総計	2677	2834	1811	479	7801
	後期高齢者（75歳以上）%	59.1%	50.3%	50.5%	72.0%	54.7%
平均年齢（歳）		76.7	74.9	75.3	79.4	75.9

表 8 世帯状況別の基本属性 (2) : 要介護認定、認知症高齢者の日常生活自立度

		一人暮らし	夫婦のみ	その他	欠損値 ・事故値	合計
要介護度	認定なし	2288	2612	1636	313	6849
	要支援 1	154	69	33	12	268
	要支援 2	97	50	33	15	195
	要介護 1	65	25	37	36	163
	要介護 2	43	39	26	22	130
	要介護 3	15	19	24	28	86
	要介護 4	6	12	14	26	58
	要介護 5	5	4	5	26	40
	不明	4	4	3	1	12
	総計	2677	2834	1811	479	7801
	要介護認定あり%	14.4%	7.7%	9.5%	34.4%	12.0%
障害高齢者の 日常生活自立度	認定なし	2290	2614	1636	315	6855
	自立	1	1			2
	J1	49	16	8	4	77
	J2	206	73	43	28	350
	A1	49	49	34	40	172
	A2	50	39	50	27	166
	B1	16	16	15	10	57
	B2	8	14	14	30	66
	C1	1	8	4	7	20
	C2	3		4	17	24
	不明	4	4	3	1	12
	総計	2677	2834	1811	479	7801
	障害あり (A1以上) %	4.7%	4.4%	6.7%	27.3%	6.5%
	認知症高齢者の 日常生活自立度	認定なし	2288	2612	1636	313
自立		154	84	45	24	307
I		112	53	46	17	228
II a		46	22	20	22	110
II b		45	28	29	30	132
III a		20	18	18	25	81
III b		2	7	6	11	26
IV		4	3	8	26	41
M			1		8	9
記載なし		2	2		2	6
不明		4	4	3	1	12
総計		2677	2834	1811	479	7801
障害あり (II a以上) %		4.4%	2.8%	4.5%	25.5%	5.1%

し」で 77.0% (2,061 名) で、「夫婦のみ」55.9% (1,583 名)、「その他」45.3% (820 名) よりも高かった。

配偶状況に関して、配偶者がいない者の

比率は、「一人暮らし」で 90.4% (2,420 名) で、「夫婦のみ」0.0% (0 名)、「その他」35.1% (635 名) よりも高かった (表 9)。

表 9 世帯状況別の基本属性 (3) : 住まい、配偶状況

		一人暮らし	夫婦のみ	その他	欠損値 ・事故値	合計
住まい	1. 持ち家（一戸建て）	145	478	559	26	1208
	2. 持ち家（集合住宅）	395	736	394	33	1558
	3. 公営賃貸住宅	1739	1374	648	84	3845
	4. 民間賃貸住宅（一戸建て）	9	12	10	3	34
	5. 民間賃貸住宅（集合住宅）	249	176	138	25	588
	6. 借家・貸間	64	21	24	3	112
	7. グループホーム	1		5	0	6
	8. 高齢者住宅	26	11		2	39
	9. 有料老人ホーム	13		1	2	16
	10. 特別養護老人ホーム	1		1	0	2
	11. 長期入院中	1			3	4
	12. その他	19	18	20	3	60
	欠損値	15	8	11	295	329
	総計	2677	2834	1811	479	7801
賃貸（3,4,5,6）%	77.0%	55.9%	45.3%	24.0%	58.7%	
配偶状況	1. 配偶者あり	160	2663	1084	66	3973
	2. 配偶者なし	2420	0	635	108	3173
	欠損値・事故値	97	171	92	305	655
	総計	2677	2834	1811	479	7801
	配偶者なし%	90.4%	0.0%	35.1%	22.5%	40.7%

学歴に関して、最終学歴が初等教育以下（未就学を含む）である者の比率は、「一人暮らし」で 23.5%（628 名）で、「夫婦のみ」17.1%（484 名）、「その他」19.6%（355 名）よりも高かった（表 10）。

現在の就業状況に関して、現在職につい

ていない者の比率は、「一人暮らし」で 74.6%（1,996 名）で、「夫婦のみ」67.4%（1,911 名）、「その他」66.7%（1,208 名）よりも高かった（表 11）。

年収を表 11 に示した。年収が 100 万円未満の比率は、「一人暮らし」で 17.0%（454 名）

表 10 世帯状況別の基本属性 (4) : 学歴

		一人暮らし	夫婦のみ	その他	欠損値 ・事故値	合計
学歴	1. 未就学	2	3	1	0	6
	2. 小学校（旧制尋常小学校）	68	12	35	6	121
	3. 中学校（旧制高等小学校）	558	469	319	46	1392
	4. 高等学校（旧制中学校）	1243	1302	835	97	3477
	5. 短期大学・専門学校	360	358	235	28	981
	6. 大学	342	591	286	21	1240
	7. 大学院	13	17	28	0	58
	8. その他	45	19	26	2	92
	欠損値・事故値	46	63	46	279	434
	総計	2677	2834	1811	479	7801
初等教育%	23.5%	17.1%	19.6%	10.9%	19.5%	

表 11 世帯状況別の基本属性 (5) : 就業状況、年収、主観的な経済的困窮感

		一人暮らし	夫婦のみ	その他	欠損値 ・事故値	合計
就業状況	1. 有職 (週35時間以上)	283	422	266	20	991
	2. 有職 (短時間またはパート)	370	457	304	22	1153
	3. 無職	1996	1911	1208	165	5280
	欠損値・事故値	28	44	33	272	377
	総計	2677	2834	1811	479	7801
	無職%	74.6%	67.4%	66.7%	34.4%	67.7%
年収	1. 収入なし	142	53	67	15	277
	2. 0-100万円	312	131	182	21	646
	3. 100-300万円	1661	1293	743	98	3795
	4. 300-700万円	263	918	443	25	1649
	5. 700-1000万円	16	57	42	5	120
	6. 1000万円以上	9	40	31	1	81
	7. わからない・回答したくない	191	227	204	22	644
	欠損値・事故値	83	115	99	292	589
	総計	2677	2834	1811	479	7801
	100万円未満%	17.0%	6.5%	13.7%	7.5%	11.8%
主観的経済状況	1. 苦しい	425	316	253	29	1023
	2. やや苦しい	720	743	435	56	1954
	3. ふつう	1259	1431	894	96	3680
	4. ややゆとりがある	175	215	145	12	547
	5. ゆとりがある	62	86	50	5	203
	欠損値・事故値	36	43	34	281	394
	総計	2677	2834	1811	479	7801
	経済的困窮%	42.8%	37.4%	38.0%	17.7%	38.2%

で、「夫婦のみ」6.5% (184名)、「その他」13.7% (249名) よりも高かった (表 11)。

現在経済的にゆとりがあると感じているか、苦しいと感じているか (主観的経済状況) に関する回答結果を表 11 に示した。経済的に「苦しい」「やや苦しい」との回答の比率は、「一人暮らし」で 42.8% (1,145名) で、「夫婦のみ」37.4% (1,059名)、「その他」38.0% (688名) よりも高かった (表 11)。

D. 考察

回収済みの対象者 7,801 名のうち、「一人暮らし」は 34.3% (2,677名) で、巨大団地地域である二丁目ですべて高い比率を示した

(43.9%)。

一人暮らし高齢者の特徴として、①女性が多い、②後期高齢者が多い、③要介護認定率が高いが、障害高齢者・認知症高齢者の日常生活自立度に障害がある者の比率が特に高いというわけではない、④賃貸住宅の比率が高い、⑤配偶者がいない者が多い、⑥低学歴の者が多い、⑦就業していない者が多い、⑧年収 100 万円未満の者がやや多く、経済的に苦しいと感じている者も多い、ことが挙げられる。住居や経済状況にリスクを抱えている者が多いと考えられた。

E. 結論

・大都市部における独居認知症高齢者の生活実態と生活課題の把握を目的として、板橋区高島平地区在住の高齢者全員を対象として、郵送法と郵送留置き法を併用した自記式アンケート調査を実施した。

・回収票は7,801票であった(ここまでの回収率69.7%)。回収済み対象者のうち独居は2,677名(34.3%)であった。

・回収済み対象者のみのデータについて分析した結果、本地域における独居高齢者は、①女性が多い、②後期高齢者が多い、③要介護認定率は高いが、障害高齢者・認知症高齢者の日常生活自立度に障害がある者の比率が特に高いというわけではない、④賃貸住宅の比率が高い、⑤配偶者がいない者が多い、⑥低学歴の者が多い、⑦就業していない者が多い、⑧年収100万円未満の者がやや多く、経済的に苦しいと感じている者も多い、という特徴があり、住居や経済状況にリスクを抱えている者が多いと考えられた。

F. 研究発表

1. 論文発表

なし。

2. 学会発表

なし。

G. 知的財産権の出願・登録状況

なし。